科目ナンバリング			
授業科目名<英訳>	情報基礎演習［工学部］（地球工学科） Practice of Basic Informatics (Faculty of Engineering) [Global Engineering]	担当者所属職名・氏名	工学研究科　准教授　五十里　洋行 工学研究科　准教授　柏谷　公希 防災研究所　助教　直井　誠 環境安全保健機構 教授　平井　康宏 工学研究科　准教授　島田　洋子 工学研究科　准教授　澤村　康生

群	情報学科目群	分野(分類)	(基礎)	使用言語	日本語
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	月4/金4	配当学年	主として1回生	対象学生	理系向

[授業の概要・目的]

工学系で必要となるコンピュータ利用に関する基本的なスキルを修得するための演習である．UNIX系OS (Linux) を利用する．メディアセンター等において履修者が実際に端末を使用して演習を行う．

[到達目標]

工学系で必要となるコンピュータ利用に関するスキル（UNIXのコマンドによるファイル操作・文書整形・グラフ作成・プログラミングの基礎・情報リテラシー）を習得する．

[授業計画と内容]

第1-3週：概要，文字の入力とファイル作成
　情報セキュリティ教育を行い（情報セキュリティに関するe-Learningの受講を推奨する），メディアセンターで利用できるソフトウェアを紹介する．端末からのログイン・ログアウトなど基本的な操作の実行，エディタを利用してのアルファベットおよび日本語の入力方法を学ぶ．文書ファイルを作成して印刷し，成果を提出する．

第4週: 工学系学術情報リテラシー（基礎）
　京都大学における資料・情報の収集方法／工学部図書館の利用方法／図書・雑誌の探し方／日本語文献の探し方／レポートの書き方に関する情報及び情報利用上の注意

第5-6週：UNIXコマンド・シェル
　基本的なUNIXコマンドについて学び，使用法を身に付ける．まず，ファイルシステムについて理解し，ファイルを取り扱う上で重要なリダイレクションとパイプについても使用法を身に付ける．

第7-9週：文章整形
　LaTeX を使用して，文章を整形する手法を修得する．また，文章中に数式や表を出力する方法および図やグラフを挿入する方法についても修得する．

第10-11週：グラフ作成
　グラフ作成の基礎（プロット，軸スケール，注釈など）について学修し，gnuplotを使用して，関数や数値データを図示する手法を修得する．

第12-14週：プログラミング
　プログラムの基礎について学修する．さらに，プログラムの流れを変えるための繰り返しと条件分岐の構造を理解する．fortranを使用して，実際にプログラミングを行い，計算を実行させる手法

情報基礎演習［工学部］（地球工学科）(2)へ続く↓↓↓

を修得する.

学習の理解度に応じて、変更される場合がある.

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

各回に課される演習課題を含む平常点，ならびに定期試験結果により，授業内容を理解・修得しているかどうかを評価する.

[教科書]

京都大学 『情報基礎演習』

[参考書等]

（参考書）
牛島省 『数値計算のためのFortran90/95プログラミング』（森北出版）

（関連ＵＲＬ）

https://panda.ecs.kyoto-u.ac.jp/portal(授業では情報環境機構の提供する学習支援サービスPandAを利用する．)

[授業外学修（予習・復習）等]

教科書・副読本・メディアセンター等の端末PCを用い，適宜予習・復習を行うこと.

[その他（オフィスアワー等）]

T1～T4の4クラスで行う．メディアセンターの端末を使用して演習を行うため，利用コードが必要である．第1回の演習時限までに必ず取得しておくこと．オフィスアワーについては，各クラスで演習時に指示する.
他の科目との関連について：「情報基礎［工学部］（地球工学科）」（1年後期）を履修することを強く薦める．また，地球工学科専門科目「情報処理及び演習」（1年後期）は本演習を履修していることを前提として行われる.